

【 雨中の戦い（サッカー部 県大会） 】

令和5年10月23日

10月8日（日）に本校サッカー部が「令和5年度 兵庫県高等学校サッカー選手権大会」に挑みました。津名高校で14:00キックオフでしたが、雨が降り始め雨中での試合となりました。対戦相手は須磨学園で、本校サッカー部は前半は粘り強い試合運びでしたが1点をリードされ、後半も得点を取られてしまい惜しくも敗戦となりました。しかし、チームがギリギリの人数という不利な状況の中で、よく動きながら健闘している姿が印象的でした。また、3年生にとっては引退試合となりました。



試合の数日後、キャプテンの菅原 鳳雅君（M3A）にキャプテンとして苦勞したことや取り組んだこと、学んだこと、県大会の試合についてなど話を聞きました。

菅原君：「部員全員がなかなかそろわないときや、練習中の雰囲気あまりよくないは苦勞しました。そこで、部員一人ひとりの意見を聞きながら改善点を見つけてそれを実践することに取り組んで、チームメートから信頼されるようになり仲も深まりました。部活動では、人間として周りの人を見て動いたり、大きな声で挨拶ができるようになり、大きく成長できて良かったと思います。

県大会の試合では、最後まで全員が1点でも取ろうと走り切ったところが良かったと思います。ただ、1点先取されてから集中が切れてボールが保持できなかったところが反省点です。」

菅原君はボランチというポジションで、背番号は「3」です。ボランチの役目はチームをコントロールすることで、ゲームメイクにおいて重要なポジションです。サッカーは組織的なスポーツなので、このポジションをこなすためには信頼関係は必要不可欠だと思います。

ところで、3年生は引退しても後輩の人数が少ないので練習を手伝ってくれるそうです。引退してしまうと練習に参加するのはなかなか大変なことだと思います。このように自分を育ててくれた部に「恩返し」する気持ちは大切にしたいと思います。